

藤 沢

エコネット

藤沢環境運動市民連絡会議

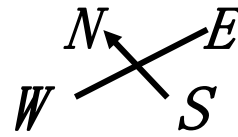
(略称) 藤沢エコネット

主
な
記
事

- ・藤沢市の桜の開花
- ・海の情報
- ・福島っ子リフレッシュ in 湘南
- ・アルプス処理・汚染水の海洋放出
- ・ここでくらすそ〜文化芸術フェスタ藤沢

2024年5月1日

第360号



<http://econet2015.sakura.ne.jp>

事務局 e-mail: aoyagipc@jcom.home.ne.jp 青柳

☎ / FAX 0466-87-4922

憲法施行77周年を迎えて、 岸田内閣の下で進む、「壊憲」による憲法の危機

1947年5月3日、現憲法が施行されてから今年で77周年を迎える。この間自民党を中心に何度か憲法改正の動きはあったが、国民の粘り強い反対運動で改憲を阻止してきた。ところが、岸田内閣の下で、正面切った改正ではなく、安保3文書などを閣議決定し、憲法の条文を改正するのではなく、憲法を実質的に壊す「壊憲」によって、憲法9条を骨抜きにしようとする政治が始められてきた。

安保3文書は43兆円にも上る大軍拡、敵基地攻撃能力の保持、長距離ミサイルの導入、殺傷能力のある兵器の開発、日英伊3国による戦闘機の共同開発など、これまで「専守防衛」に反する行動はとらないと政府自ら公約してきた政策をことごとく破り、戦争出来る国に仕立てようとするものであり、戦争放棄、戦力不保持を定めた憲法9条に反することは明白である。

本来、こうした政策転換は、国会の論議、選挙による国民の審判を得なければ成らないはずなのに、政府で勝手にきめ、アメリカに国賓待遇で出かけて行ってバイデン大統領と「壊憲」の約束をしてくる等ということは許せることではない。アメリカの駐日大使が「日本側は数十年続いた神聖な従来の政策を根本的ひっくり返した」と大喜びしたと言うが、日本国民には本当のことは言わず、アメリカには「壊憲」でパートナーシップを売り込むなどという岸田首相の外交姿勢は、日本国民を愚弄する反国民的行為以外の何物でもない。

しかし、かれらとて、解釈改憲、閣議決定だけで憲法改正ができるとは思っていない、国会で3分の2の多数を取って国民投票にかけなければ憲法改正の発議ができないことは知っている。年内にも解散総選挙が予想されているが、選挙に勝たねばならない。選挙で彼らに3分の2以上の議席を与えないためには投票率を上げることが大切になってくる。これまで同様の低投票率では、議席数の大きな変化は望めない。

自民党の、憲法を実質的に壊す「壊憲」も、条文を変える「改憲」も、どちらも許さないためには、多くの人に選挙に向かわせ、政治情勢を大きく変えることが何よりも大切だといえるだろう。

(小林 麻須男)



こいのぼり 長久保公園で

2024 年 藤沢市の桜の開花

昨年に引き続き、今春もエコネットと CWS の会員が協同で桜の開花観測を行いましたので、その結果を報告します。

去年は、1953 年の気象庁・生物季節観測の開始以来、多くの地点で最も早い開花となりました。今年も、昨年末から記録的な暖さが続き、桜の開花も早いと予想されていましたが、予想に反して、横浜地方気象台の観測では昨年(3月15日)よりも17日遅れの4月1日の開花となり、平年(3月25日)よりも遅くなりました。

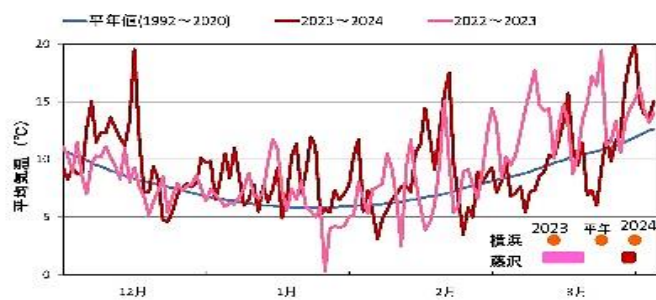
藤沢市内では会員が手分けをして、用田、湘南台、六会、川名、鵜沼で、海岸近く、内陸、境川・引地川沿いなど多様な環境の14か所の地点で観測を行いました。

去年(2023年)には3月13日～3月21日の期間に開花が観測されましたが、今年は、20日近く遅れて3月30日～4月1日に開花しました。図に示すように、年末に異常な高温となり、その後も高温傾向が続いて、2月までは順調に開花準備が進んできたものの、3月に入って平年並みか平年より低い日が多くなったことで、開花の最終段階の進行が抑制されたものと考えられます。そして3月30日と31日に平均気温20℃の暖かさとなり、一斉に開花が促されたのだと思われます。

2023年の開花は、藤沢市内で8日間の幅があったのに対し、2024年は3日以内に開花したことからも、そのことを説明できるでしょう。

このように、桜の開花には冬から3月の気温が複雑に影響を与えていることが分かります。そのため様々なケースが想定され、気候温暖化との関連を論じるためには、今後、地道な観測を続ける必要があると考えます。

【藤沢市の気温と桜の開花日】



【図の説明：気温の平年値、2022年12月～2023年4月の気温、2023年12月～2024年4月の気温、2023花年・2024年の

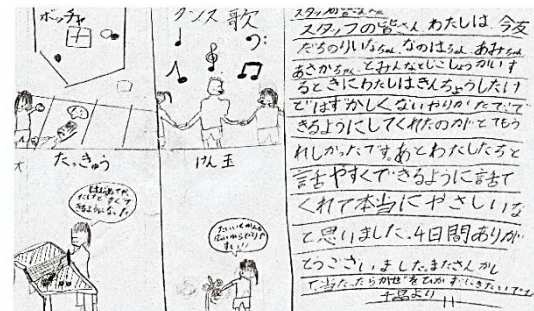
開日、横浜地方気象台の開花日、
気温は気象庁アメダス辻堂の観測値】
(NPO 法人 CWS 丸田)

福島っ子リフレッシュ in 湘南

4年ぶりに「第16回福島っ子リフレッシュin湘南」が3月27日～30日に行われました。

子ども6人と保護者が3家族で計10人。藤沢の県立スポーツセンターに3泊し、歌やダンスやで歓迎、翌日はボッチャ体験、また広いアリーナで卓球や鬼ごっこ、けん玉などで遊び、自由時間を多くしたので江の島や鎌倉を見学し家族ごとに自由に過ごしました。

3組の子ども達は初めて会ったとは思えないように仲良くなりました。保護者の方は福島での生活はまだまだ放射能の危険を感じているのでこの保養に参加したとの事です。桜は未だ咲かず、ひどい嵐にも会いましたが、私たちもあまり疲労感も体調不良もなく楽しく過ごすことができました。



子どもが感想の絵を描いてくれました

このような形で保養ができることは宿泊施設があつてこそですが、スポーツ施設なのでスポーツをしなければ利用できず、結果は一時間でもスポーツを取り入れた企画でした。特にボッチャは誰でもできるスポーツなので体験には手ごろでした。神奈川県も普及に力を入れているとの事。

親子は「また来たい、日程もちょうど良い」などの感想。子どもたちは楽しかったことを絵に描いてくれました。いつまでも離れがたいお別れ会でした。

今、保養をする団体が打ち切りにして減っています。

事故から 13 年経った今、まだ少しでも希望者がいる間は保養を続けたいと話合いました。本来は国の責任で行うべきと申し入れています。このような形で保養ができるのは嬉しいことです。

原発事故が及ぼした影響は計り知れませんが、政府の方策は再稼働や老朽施設の延命にすすんでいることを知っていただきたいし、廃炉を望みます。

藤沢エコネットの皆様からの暖かいご支援に感謝いたします。(福島の子もたちとともに・湘南の会 荒井)

ここでくらすそ 〜文化芸術フェスタ・藤沢

私たち「ここでくらすそ」は、鎌倉の由比ヶ浜で年 2 回開催されている「鎌人いち場」に触発されて、藤沢・奥田公園でのフェスの開催を実現しようと、昨年 11 月 27 日に顔合わせを兼ねた準備会からスタートしました。

呼びかけた「藤沢の文化芸術を考える会」からは、市民会館・南市民図書館・奥田公園のエリア一帯が、文書館・青少年会館・市民活動推進センター・浸水対策施設等を含めた複合施設として、また文化芸術の拠点として再整備されることを多くの市民が知らないままに進められていることに危惧を抱き「文化芸術・場(今回の再整備エリア)・市民のネットワーク」を柱に今回のフェスに向けた取り組み提案となった経過が話されました。

その後結成された実行委員会では、フェスを支えるイベントとして、①ダンスやバンドなどのステージパフォーマンス、②けん玉など手遊びや絵や楽器のワークショップ、③手作り品の販売やキッチンカーなど地産地消の模擬店、そして④地域で展開している活動の PR ブースなどによる構成案が確定しました。

現在、60 近くの出展者の応募を受けて説明会を実施し、6 月 9 日の開催に向けて準備を進めています。

なお、当日サポーターも募集していますので、ご協力をお願いします。

日時／6 月 9 日(日)10 時～16 時
会場／奥田公園(藤沢市民会館・北側)
(黒川 栄)



アルプス処理・汚染水の海洋放出

東日本大震災東電原発事故から 13 年の 3 月、漁業者の生の声を「子どもたちに未来を in 湘南」主催の講演会で聞くことができました。改めて、汚染水について振り返ってみます。

事故当初から放射性物質による海洋汚染は深刻でした。3 月の事故直後は海水から高濃度の放射性物質を検出、4 月に東電は放出基準の最大 1000 倍の放射性廃液を海に放出して、国内外から批判を浴びました。5 月には海岸近くの地下水汚染が判明、東電は「地下水バイパス」という、上流の地下水をくみ上げ、海に流す運用を開始、更に汚染地下水を浄化処理して海に放出する「サブドレン計画」を発表、その際、漁業者側は、処理水をタンクで厳重に保管し、漁業者、国民の理解なしには海洋放出は絶対行わないよう求め、政府・東電は「関係者の理解なしには、いかなる処分も行わない」と約束しました。

ところが、21 年 4 月に漁業者の理解が得られないまま、アルプス処理・汚染水の海洋放出決定、23 年 8 月、海洋放出(放出基準に適合するまで大量の海水で薄めて放出)が始まったのです。23 年度は 4 回に分けて計 3 万 1 200 トンを海洋放出、2024 年度は 7 回に分けて計 5 万 4600 トンを海洋放出処分と発表されました。しかしその後も汚染水放出事故が続発しています。

いくら薄めても放射性物質が減るわけではなく、放射性物質の総量は変わらず、海を汚染し続けます。日本の水産物の最大の輸出先中国は 22.5% を占めていましたが、アルプス処理・汚染水の海洋放出を巡り、日本からの水産物輸入を停止しました。当然のことです。

了解得ずに、約束を違えて海洋放出した国に対して、漁業者は怒り心頭でした。「漁業者だけの問題ではない、みんなの問題だ！」と何回も訴えました。その通りです。私達、そして子や孫に汚れた海を手渡せるのでしょうか。「海はゴミ捨て場ではありません！」
(青柳節子)

海の情報

1998 年前後地球上のサンゴが真っ白になる「サンゴの白化」が起きたころ、まだどこかに健全なサンゴが残っているのでは？と訪れた中部太平洋マーシャル諸島のサンゴは元気でした！

ところがここも数年後に白化が進みサンゴが広く衰退してしまいました。5年ぶりの現地でのサンゴ調査です。そして 1954 年 3 月 1 日マーシャル諸島ビキニ環礁で米国による " 水爆実験ブラボー " で多くの島民が被ばくをし、日本のマグロ漁船第5福竜丸と乗組員 23 名も被ばくしました。

今年は 70 周年を迎え日本各地、そしてマーシャル諸島でも式典が行われ参加してきました。（武本匡弘）



2008 年 1 月マ
ーシャル諸島
のサンゴ



2012 年 1 月マ
ーシャル諸島
のサンゴ



藤沢気候時計

気候危機は人類の危機！
2024年5月1日現在 このまま何もしなければ
パリ協定の約束：地球温暖化1.5℃上昇まで 残りはあと

7 年と 50 日

それまでに使える炭素予算(CO2の限度)

世界	2,627億トン
藤沢	1,457万トン

脱炭素都市藤沢の目標
2050年までにゼロカーボン(実質0)

気候危機アクション藤沢

ECONET INFORMATION

▲「断熱」が日本を救う・地球を救う

講師 高橋真樹さん（環境ジャーナリスト）

5 月 11 日(土) 11:00-12:45

場所 エコストアパパラギ 2 F

参加費 1100 円

主催／申込み エコライフ不動産 0466-50-0117



▲2024 年 平和行進

核兵器のない世界実現を願って歩きましょう

5 月 16 日(木) 10:00 藤沢市役所前集合

市役所→藤沢橋→銀座通り→ミナパーク前で解散

主催/ピースリレー・ふじさわ 090-3513-3142

▲映画「福田村事件」 5 月 11 日(土)

茅ヶ崎市民文化会館 10:30- 14:00- ¥1200

主催 ピースカフェ茅ヶ崎 090-4845-9915

▲ふじさわ九条の会 19 周年のつどい

講演 中野晃一さん(政治学者)

歌と演奏 パンドゥーラ演者 カテリーナさん

5 月 18 日(土) 13:30-16:30

藤沢市民会館小ホール 参加費 1200 円

主催 ふじさわ九条の会 090-9239-0864

▲学習会「自宅に太陽光と蓄電池を！」

5 月 19 日(土) 15:30-18:00

場所 藤沢市民活動推進センター B 会議室

講師 市役所環境総務課職員

主催 NGO 気候危機アクション藤沢

▲藤沢エコネットから

◆映画上映「グレタ〜一人ぼっちの挑戦」 13:30-

6 月 12 日(水) 場所 六会公民館

その後 15:00- 総会を行います

◆会員募集 年会費・購読料→2000 円

未納の方、納入をお願いします。

◆事務局会議 6 月 1 日(土)10:00~ 六会公民館

《編集後記》ゴールデンウィークはどうする？ 今年は 3 日休めば 10 日間の連休。あまりに多い観光地の人込み様は、とても外出の気分にはなれない。本来なら緑が萌える田舎への旅行もしたい時。物価高騰で旅費もばかにならず、外国人も観光に押し寄せている。子どもたちにも楽しい休みをと願う親は、スマホで情報集めをせざるを得ないが、高齢者は出かけられないのだ！ (H)